

(別紙)

令和５年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名 東京都

【基本情報】

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンセイショウネンノイバシヨキートス
法人名	特定非営利活動法人青少年の居場所K i i t o s
フリガナ	ショウガイシャセイカツクンレンジギョウショボルタ
事業所名	障害者生活訓練事業所P o r t a
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる１つのみ選択）	
自立訓練	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
3.1 人	
ICT機器等導入完了日	令和5年10月18日

※行・列の追加は行わないでください。

（１）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
給与業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（２）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備 考
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	②情報の共有化	Knowbe業務支援	6	
⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連ソフト	③業務の統合化	freee人事労務（会計含む）	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	4人	4件	48件	30分	24時間	6時間	
③請求業務	1人	4件	48件	30分	24時間	24時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		8件	96件	60分	48時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①4名の利用者が月に通所する日数の合計

③現在の利用者登録数

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①紙に記入した内容をICT機器に入力する時間

③紙ベースで内容の確認をし、データで取り込んで請求するまでの時間

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	7人	4件	48件	15分	12時間	2時間	
③請求業務	3人	4件	48件	10分	8時間	3時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		8件	96件	25分	20時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①4名の利用者が月に通所する日数の合計

③現在の利用者登録数

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①ICT機器に入力する時間

③データを取り込んで請求するまでの時間

年間業務時間数削減率（％）	58.3%
---------------	-------

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率（％）	#DIV/0!
---------------	---------

（４）ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

導入当初はどちらのソフトも入力の方が分からず、慣れるまでに時間を要した。

業務支援ソフトは導入当初オペレーターが入力のフォローをしてくれた他、ネット上に入力等での質問について詳しく掲載されていたので、そちらを参考にした。

日々の業務で必要な情報を入力する中で、職員間で使い方について精査し誰も見やすい形式に整えていった。

会計ソフトは電話での問い合わせができず不便を感じていたが、チャットボットの機能を使いやり取りすることに慣れると、業務がスムーズに進むようになった。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦勞した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	ソフトウェア導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 ☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 ☐ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。 ☐ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。 ☐ 5 その他の効果があった。 ☐ 6 効果がなかった。	☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 ☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 ☒ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。 ☒ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。 ☒ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。 ☐ 6 その他の効果があった。 ☐ 7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。	※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

職員の人数が限られていて、事務作業に専念する時間がすくなかったが、ICT機器の導入によりミスが少なくなったことで業務の効率が良くなり、一人に係る負担が軽減され気持ちにゆとりを持った支援が可能となった。

業務が統合されたことにより情報がタイムリーに共有できるようになったことで、法人本部との連携がスムーズとなった。

ペーパーレスによる物理的な業務の負担が軽減された。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

機器等の導入により、これまで手が回らなかった現場の支援（給食の提供）ができるようになった。

業務のスリム化によりケース会議を行う時間ができ、個々の利用者に対する直接支援の充実が図れている。

（５）ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※１）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※２）	

（※１）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※２）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。